

氷が削れない場合の原因と処置

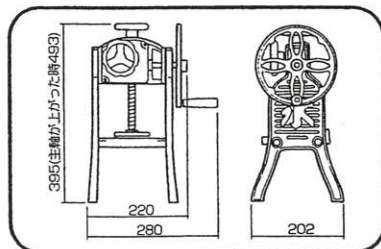
症状	原因	処置
削れない 氷が飛び出したり フラつく	刃物 ●刃が欠けたり、ひどくいたんでいる	●刃物交換
	刃物 ●刃が切れない	●刃物交換
	ブレーキ ●ブレーキの強弱調節が弱い	●ブレーキを時計方向に廻して締め付ける
氷が細かくなりすぎる	氷押え ●十分に釘が喰い込んでいない	●氷の平行な面を上下にする
	刃物 ●刃が切れない	●刃物交換
氷が粗くなりすぎる	ブレーキ ●ブレーキ調節が弱い	●ブレーキを時計方向に廻して締め付ける
	刃物 ●刃が切れない	●刃物交換
氷の粗さが一定しない	ブレーキ ●ブレーキ調節が強い	●ブレーキを反時計方向に廻してゆるめる
	ブレーキシュー ●ブレーキシュー、スプリングの摩耗、へたり	●ブレーキシュー、スプリングの交換
回転が重い	ブレーキ ●ブレーキを締めすぎている	●ブレーキを反時計方向に廻してゆるめる
	ブレーキ ●ブレーキをゆるめすぎている	●ブレーキを時計方向に廻して締め付ける
回転が軽い	ブレーキ ●ブレーキシュー、スプリングの摩耗、へたり	●ブレーキシュー、スプリングの交換
	ブレーキシュー	

△(注)ブレーキ調節は出荷時に調節をしていますので初めはさわらないでください。

保守について(シーズン終了後の保管)

- 刃物が切れなくなりましたら研磨せずに新しい刃物と交換してください。新しい刃物の購入は、製品をお買い上げの販売店にご相談下さい。
- 本体は柔らかい布等で水分を取り去り、から拭きし十分乾かしてから湿気の少ないところに重量物を上から乗せないようにして保管してください。(横倒しはしないでください。)又、本体は鋳物製ですので錆が発生する場合があります。定期的に塗装、主軸にグリス等を塗布することをおすすめします。

寸法図



仕様

- 外形寸法 / 横幅220mm×奥行202mm×高さ395mm
- 重量 / 8.5kg
- 切削能力(分) / 0.7kg
- 氷受盤下寸法 / 115mm
- 円盤直径 / 120mm
- 付属品 / 氷受皿1枚、製氷カップ2コ

●仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更する場合があります。

池永鉄工株式会社

本社 大阪市東成区東今里3丁目18番26号
〒537-0011 TEL (06) 6981-0141(代)
FAX (06) 6976-8628

東京 東京都三鷹市下連雀3丁目42-15-603
〒181-0013 TEL (0422) 40-1160
FAX (0422) 40-1180
工場 大阪・四日市・南部

Swan®

取扱説明書

本格的氷削機

ちいさな
南極。

ミニ手動式氷削機 SI-2C

このたびはスワン氷削機をお買いあげいただき
まことにありがとうございました。

製品を正しく安全に使っていただくために、

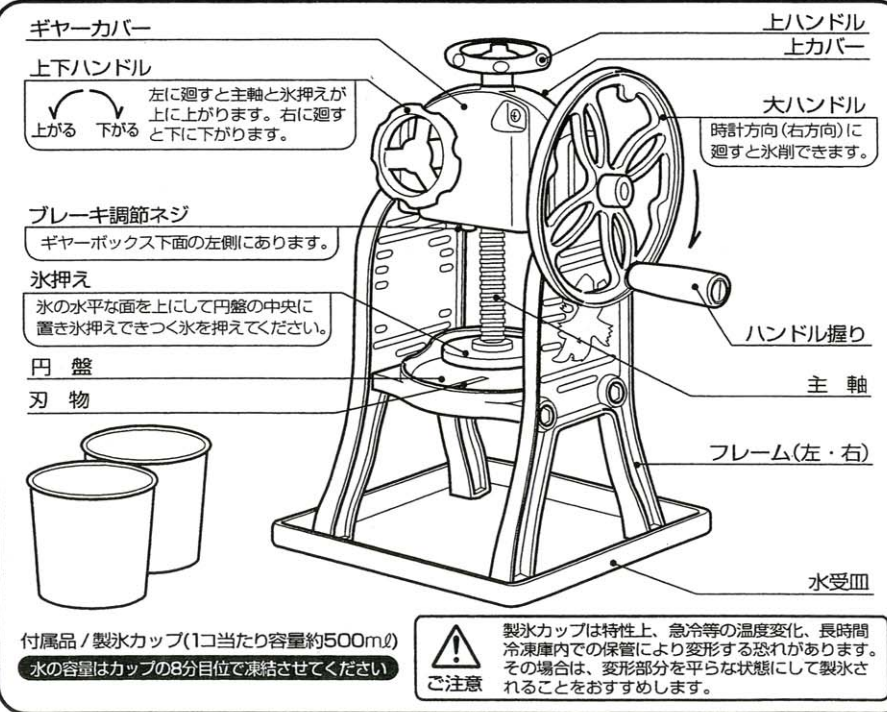
ご使用前に必ずこの説明書を十分にお読みくだ
さい。また、お読みになった後は大切に保存し
てわからない時は再読してください。

なお、製品の譲渡に際しても必ず共にお渡しし
ださい。

⚠ これだけは必ず守ってください (使用上のご注意)

- 本製品は専用カップ氷用の氷削機です。他の用途にはご使用にならないでください。
- お子様などがお使いになる時は必ず正しい取扱いを十分知っている人がそばにいてください。正しい操作が出来ない人には危険ですので絶対に使わせないでください。
- 機械の設置は水平で丈夫な場所また、水滴等が落ちてもし障りのない所に置いてください。(付属の水受皿を必ずお使い下さい)
- 刃物および氷押えの釘は非常に鋭利で危険です。氷の出し入れや取扱いには十分注意してください。
- 氷は必ず水平な面を上にして円盤の中心に置き、氷押えの釘を十分にこませてください。不十分な置き方、押さえ方は氷が飛び出し危険です。
- 冷凍庫に保管された白く硬くなった氷をすぐに削りますと刃物の損傷の原因になりきれいな氷が削れません。氷がある程度透明のゆるめた状態になってからご使用ください。
- 常に安全に効率よくご使用いただくため定期点検をしてください。刃物の先端部が摩耗したり折損したものを、そのままご使用になっておりますと故障の原因となりますから早めに新品と交換してください。また、各部取付けネジがゆるんでいないか点検し、もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

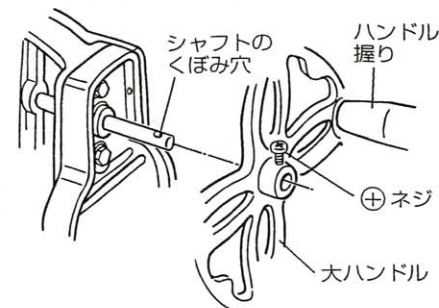
各部の名称と働き



ご使用前に 大ハンドルを組み立ててください

- 大ハンドルは梱包のため、取り外してありますので取付けてください。

1. 正面に向かって右側上部に突出したシャフトがありますのでハンドル握りを外側にして差し込んでください。この時、シャフトのくぼみ穴に⊕ネジの先端が入る位置に合わせてください。
2. 大ハンドル取付部に⊕ネジがありますのでドライバーで強く締めてください。
3. 大ハンドルを廻し、主軸がスムーズに廻れば完成です。



ご使用方法

- 1 上下ハンドルを反時計方向に廻して主軸・氷押えを上げてください。

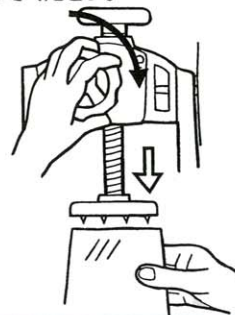


- 2 氷を水平な面を上にして、円盤中央に乗せてください。氷は必ず透明のゆるめた状態でお使いください。



⚠ (注) 刃物、氷押えの釘には十分注意してください。

- 3 上下ハンドルを時計方向に廻して氷押えが氷をしっかりとくい込む迄、強く廻してください。



⚠ (注) 刃物、氷押えの釘には十分注意してください。

- 4 氷の出てる所に器を持っていき、大ハンドルを廻して氷削ってください。なお、安定良く氷削するために機械の左肩に手をそえてください。(上ハンドル、上下ハンドルは押えないでください。)

